

沖縄の ヤモリ・トカゲ

—爬虫類を通して島を見る—

左：オガサワラヤモリ 右：ミヤコカナヘビ

2024.

5.18 **土**

入場無料
14:00~16:00
(開場 13:30)

※ 席数に限りがありますので、ご入場いただけない場合があります。予めご了承ください。

※ 会場内は、空調の影響で寒くなる場合があります。

講師 戸田 守 氏
(琉球大学熱帯生物圏研究センター 准教授)

会場 沖縄県立博物館・美術館
3F 講堂

受付 当日先着 (定員 200 名)

お問合せ 098-941-8200
〒900-0006
沖縄県那覇市おもろまち 3-1-1

沖縄のヤモリ・トカゲの多くは、この地域の固有種です。それぞれ、島の歴史や環境を反映して独自の進化を遂げた、世界でもここでしかみることができない貴重な存在です。今回の講座では、沖縄のヤモリ・トカゲを紹介しつつ、彼らがどのように固有種へと進化したのか解説します。また沖縄は、絶滅が危惧される爬虫類が集中して生息している地域でもあります。その理由についても解説し、それらの希少な種の保全について考えます。



【講師】 戸田 守 (とだ まもる)

1968年神奈川県生まれ。琉球大学熱帯生物圏研究センター・准教授。2000年に博士(理学)を取得し、京都大学理学研究科動物学教室助手・同助教を経て、2009年から現職。琉球列島を中心に、主に日本本土から台湾の爬虫両生類を対象に分類、生物地理の研究に取り組み、近年では生物多様性保全に関わる研究や委員会にも従事している。特に島の生物の面白さにはまり、これまで100を超える島々に渡航して調査を行っている。